令和３年度　第２７回

定　期　総　会

日時　　令和４年　５月　21 日(土)

場所

（　新型コロナウイルス拡散防止のため

開催を中止いたしました。）

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会

コミュニティひばり

目　　次

（1）報告事項

報告第1号　令和3年度事業報告

① 事業総括 …… 1
② 組織運営・事務局（広報）・交流事業 …… 2
③ 福祉部会 …… 4
④ 子ども福祉部会 …… 5
⑤ 安全部会 …… 7
⑥ 環境部会 …… 8
⑦ 文化・交流部会 …… 9
⑧ 雲雀丘浪漫委員会 …… 10
⑨ 地区防災計画推進委員会 …… 13
⑩ まちづくり計画推進委員会
⑪ きずなづくり推進事業「わがまち宝さがし」 …… 14

報告第2号　令和3年度会計報告

① 宝塚市まちづくり協議会 …… 15
② 宝塚市社会福祉協議会 …… 16
③ きずなづくり推進事業「わがまち宝さがし」 …… 17
④ ひょうご安全の日推進事業 …… 18
年末年始地域ささえ愛活動助成
⑤ コミュニティひばり事務局 …… 19
⑥ 特別会計 …… 20
（福祉部会・子ども福祉部会・文化・交流部会・環境部会・雲雀丘浪漫委員会）
⑦ 貸借対照表 …… 23

報告第3号　令和3年度会計監査報告 …… 24

（2）審議事項

第1号議案　令和4年度規約の追記（案） …… 25
令和4年度会長及び役員承認 …… 26

第2号議案　令和4年度事業計画(案)

① コミュニティひばり事業計画・基本方針(案) …… 27
② 組織運営・交流事業・事務局(広報) …… 28
③ 福祉部会 …… 29
④ 子ども福祉部会 …… 30
⑤ 安全部会 …… 31
⑥ 環境部会 …… 32
⑦ 文化・交流部会 …… 33
⑧ 地区防災計画推進委員会 …… 34
⑨ まちづくり計画推進委員会 …… 35

第3号議案　令和4年度予算(案)承認 …… 36

報告第1号　　令和3年度事業報告①
事　業　総　括

令和3年度コミュニティひばりの活動基本方針として、3項目を設定しました。
以下、それらの活動の総括を述べます。

1、会議について、zoomによるリモート会議にトライしました。社協のご協力を得て、運営委員会を皮切りに、環境部会や地区防災委員会の会合もリモートで開催出来るようになりました。昨年10月の歴史講演会では、宝塚市のみならず、他市の方も参加した盛大なインターネット配信の講演会を開催することができました。
皆様のご努力のお陰と、感謝いたします。12月には、地区防災委員会主催で、避難所開設訓練をリモートで実施しました。

2、ひばり祭りに代わる活動として、歴史講演会に続いてコミュニティひばりの9自治会のビューポイント15箇所を巡るスタンプラリーを実施しました。
特に小学生をお持ちのご家族に好評でした。
スタンプラリーに携わった方々の働きに感謝します。

3、予算の執行の見直しを行いました。従来は、予算がどのように使われているかを全体で、あまり検討が成されておりませんでした。
今回、一例として、環境部会のきずきの森の管理事業を運営委員会で説明して頂き皆の関心、理解が深まったと思います。

以上、3点について、今までにない活動ができ、今後の事業運営の良い例になったと思います。

報告第1号　令和3年度事業報告②　組織運営・事務局(広報)・交流事業

1　事業計画に基づく活動内容

活動名(部会・現地活動等)		活動内容
1	**組織運営** **定期総会・運営委員会の開催**	定期総会　令和3年度第26回 5/15 開催予定が 新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止のため中止 書面表決に変更し実施 運営委員会 役員会 専門部会　詳細別紙参照 特別委員会(雲雀丘浪漫委員会)　詳細別紙参照 (地区防災計画推進委員会)　詳細別紙参照 (まちづくり計画推進委員会)　詳細別紙参照
	組織運営 **コミュニティひばり事務局の運営**	コミュニティひばりの管理・運営 コミュニティひばりに関する会計全般 組織運営に関する事務処理全般
2	**事務局広報** **「しんぶんの発行」**	99号・100号・101号・102号　年4回発行　ネット印刷 ブログ　記載　記事の編集　及び　Zoom関連
	事務局「その他」	コミュニティセンターひばりの設備・備品・情報の維持管理 ふれあいテラスの登録受付、定期的な清掃
3	**交流事業**	歴史講演会　＆スタンプラリー　2021開催 ふれあいテラスの管理・運営

2　活動内容		
	活動名	**定期総会** ※令和3年度事業報告、会計報告及び会計監査報告 ※新役員選出、令和4年度事業計画(案)、令和4年度収支予算(案)の承認 **常任評議会** ※各常任評議員からの重要情報提供、問題共有化 ※宝塚市公共施設保有量最適化について ※定期総会資料の検討 **運営委員会** ※事務局報告 ※各部会・専門部会報告 ※専門部会、諸団体からの審議事項についての検討・議決 ※きずなづくり事業推進補助金の活用により、歴史講演会＆スタンプラリー2021実施 歴史講演会記念冊子の制作 ※自治会、各団体の行事報告・案内 (新型コロナウイルス関連に伴い会場を雲雀丘倶楽部3Fホールに設定) **専門部会** ※各部会の活動状況は「令和3年度事業報告」参照
	活動名	※ しんぶんの発行　　しんぶん 99号、100号、101号、102号　各3000部発行 ※ ブログ51件掲載 ※ Zoomオンライン支援29回（避難所運営訓練・講演会・交流会など） ※スタンプラリー関連（スタンプ図案　など）
	活動名	※歴史講演会＆スタンプラリー2021　開催「わがまち宝さがし」詳細別紙参照 令和3年10月9日　歴史講演会　コミュニティセンターひばりほか　Zoom5か所 リアル会場74名　オンライン58名　計132名（内　校区外36名） 令和3年10月10日～11月21日　スタンプラリー開催　ポイント15か所 スタンプ集印コンプリート329名　ブログアクセス1039名

		ふれあいテラスの管理・運営 目的 ①福祉分野での相談受付・行政や社協からの情報提供と交流 　※社協職員と花屋敷地域包括支援センター職員が交代で参加 　※コミュニテイ福祉部会員との情報交換 ②登下校の安全見守り「アトム110番」事業に協力 活動 コミュニテイ役員・福祉部会・子ども福祉部会・雲雀丘浪漫委員会・雲雀丘自治会・雲雀丘三丁目自治会・民生児童委員・長尾台小学校箏同好会 　※雲雀丘、雲雀丘三丁目各自治会の催し物の事務拠点となる 　※パトカー立ち寄りによる防犯 　※少人数での急な会議・打ち合せ その他 　※ふれあいテラス内の図書の撤去 　※キーボックス番号の変更

報告第1号　　令和3年度事業報告③　　福 祉 部 会

1 まちづくり計画に基づく活動P8 4.高齢者・障がい者福祉
＜住民同士が支え合うまちづくり＞

活動名（部会・現地活動等		活動概要	年回数	出席者
1	まちづくり計画に基づく具体的な活動	①全体会の開催（コミュニティセンターひばり）9/7中止・3/29	1	10
		②ネットワーク会議の開催　10/15・2/15中止	1	10
		③小委員会・会計整理・会計監査	12	38
2	高齢者等の居場所づくり・地域での交流促進	①介護についてのお話会（しゃぼん玉）4月～12月　コミセン	7	65
		花屋敷荘園自治会館にて開催（11/27）		
		②地域ふれあい喫茶（コミセン）毎月第4水曜日	6	45
		6/23・7/28障碍者受入（協力：聖隷はぐくみ花屋敷）		
		③各地域でのサロン支援		
		1．まつがおかサロン（松ガ丘自治会館）毎月第2水曜日	2	79
		2．雲雀丘山手ふれあいサロン（生成幼稚園父母の家）毎土曜日	31	225
		3．サロンつつじ（つつじガ丘自治会集会所）毎月曜日	85	995
		歩こう会　第2・4木曜日　雲雀丘花屋敷駅集合		
		いきいき100歳体操　60分2部制　（つつじガ丘公園・集会所）		
		④介護用品体験会　3/29（雲雀丘倶楽部3階ホール）	2	38
3	グループ活動支援	①アザレアの会（つつじガ丘公園・集会所）不定期	60	85
4	障がい者への理解促進のための 学習会の開催	聖隷はぐくみ花屋敷（相談支援事業所）との交流会1/27中止		
5	共催・協働事業	①ふれあいテラス：　福祉なんでも相談		
	その他	その他、民生委員・補導委員・自治会・老人会などが利用		
		②ふれあいいきいきサロン交流会　梅田（11/10）	1	1
		③障がい者　情報交換＆交流会　Zoom会議　梅田（2/15　3/15）	2	2
		全体会にて参加　10/15（円藤・山下・梅田ほか）	1	10
		④サロン支援プロジェクト　4月～2月　参加（梅田）	6	6
		⑤市民公開セミナーパネリスト（梅田）地域ふれあい喫茶障碍者受け入れ体験	1	1
		⑥介護用品体験会協力：株式会社ヤマシタ・花屋敷地域包括支援センター	1	
		⑦いきいき百歳体操（花屋敷荘園自治会館）毎金曜日午前中		

報告第1号　令和3年度事業報告④　　子 ど も 福 祉 部 会　　（その1）

事業計画に基づく活動概要　まちづくり計画P-8、9　「子育てしやすいまちづくり」

	活動名（部会・現地活動等）	活動概要	構成員	年回数	延人数
1	まちづくり計画の個別施策に基づく具体的活動	①　全体会　6月30日　11月4日	10	2	24
		小委員会　9月28日		1	5
		②　ネットワーク会議　（相互支え合い・子育て支援）	10		
		ミニ講演会　2022年3月29日		1	12
2	住民交流の場づくり	①　ひばり子ども館へボランティアとして協力（ミーティングへの参加）	4	12	
		②　三世代交流（カレーランチ・焼き芋大会・宿題ひろばなど中止			
		焼き芋の会　11月19日　3月19日	8	2	200
3	グループ活動支援	①　放課後子ども教室　「坂っ子ひろば」			
		10月14日、11月8日			
		③　子育てグループ　「さくらの小径」			
	放課後子ども教室	坂っこひろば		2	160
4	子育て支援	②　市立子ども館支援			
		理事・・・山内・長榮・山村・河野	4	9	34
		運営委員・・・明星・斎藤	4	2	5
		他　校区民生委員として（井上）　子ども会代表として（南）			
		＊理事は運営委員会へも参加			
		③　キャリアアップ相談（教室設置や起業・再就職に向けての相談	1	8	16
5	ミニ講演会	①　せいかつ応援センター職員による講演　2022年3月29日		1	12
6	共催・協働事業	①　たからづか寺子屋事業（たけのこクラブ）		0	0
		②　ふれあいテラス　（福祉なんでも相談窓口）毎月　第2水曜日	2	9	26
		原則として13時30分～15時			
		花屋敷地域包括支援センター職員・社協ブロック担当者が			
		交代で担当し、民生委員とコミュニティのボランティアが参加			

子 ど も 福 祉 部 会　　（その2）

具体的活動内容

活動名　全体会・ネットワーク会議

全体会

①情報交換　　②まちづくり計画についての話し合い

ネットワーク会議（相互支え合い）

①ミニ講演会　　②情報交換・情報提供　③研修

活動名　放課後子ども教室（坂っ子ひろば）への協力（PTAとの連携）

年3回開催うち予定された12月は雨天のため中止、1月以降は感染拡大防止のため中止

活動名　三世代交流

焼き芋の会

活動名　長尾台小寺子屋事業（たけのこクラブ）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

活動名　「子ども福祉部会たより」の発行

長尾台小学校の全校児童に配布

その他

	年回数	延べ人数
・市より指定管理を受けている第6ブロック子ども館協議会へ理事と運営員を派遣し、運営に携わる 理事会　毎月1回開催　理事（山内・長榮・山村・河野）・・・運営委員会へも出席	9	34
運営委員会　年3回開催　運営委員（明星・斎藤）、校区民生委員より（井上） 子ども会代表として（南）	2	5

報告第１号　令和３年度事業報告　⑤安全部会

	活　動　名	活　動　内　容
1	定例会	４回　３６名
2	通学路安全点検	8/20 実施 宝塚市教育委員会、長尾台小学校 PTA、宝塚市道路管理者、宝塚警察署等と一緒に校区内通学路において気になる箇所（８箇所）を巡回し点検した。
3	バス道の（つつじガ丘バス停前後）スピード超過車両の対策	通学路安全点検時に一緒に検討した。
4	防犯カメラ設置要請（通称へび坂）	今年度未着手。
5	交通マナー啓発運動	ブログ８月・ひばりしんぶん１００号に掲載。 次年度の活動として、交通マナーだけでなく見守り含め活動することを引継ぐ。 令和４年度赤い羽根共同募金の配分を受けて活動する予定。
6	長尾台小学校　体育館へのスロープ設置について	安全部会で取り上げる項目として大きすぎる内容であり、まちづくり計画等に入れ込むよう運営委員会で提案した。
	ふじガ丘地区重大災害時の緊急道路の確保について	
	阪急電鉄「雲雀丘花屋敷駅」宝塚方面高架橋のかさ上げ等の改修要請について	

報告第１号　令和3年度事業報告⑥ 環境部会

［Ⅰ］第 6 次まちづくり計画について

（1）住宅地環境の整備

1. 高木調査

ふじが丘、満願寺、長尾台、つつじが丘、松が丘、雲雀丘山手の各自治会で実施。

2. 講演会「緑でつくる　住みたいまち」

2022 年 2 月 26 日　講師：赤澤先生　コミセン　10 名、 Zoom　7 名

（2）きずきの森の活用

ア「住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備について」

・2021/11　きずきの森の内の車両通行について、政策推進課と対話。

・2022/3/3　徒歩でのアプローチについて、施設マネジメント課と対話。その際、きずきの森隣接地の所有者が、その土地について現状のまま一切手を加えず管理することを条件に市へ寄贈される意向であることが判明したため、本項目についての要望を撤回した。

（3）地域の環境保全に向けた取り組み

・担い手づくり　2021/12/6 「スワッグ作りと寄せ植え」 雲雀丘山手公園　15 名

［Ⅱ］きずきの森活動について

・保全整備活動　97 日、 1,509 人

・自然観察会　12 回、 140 人

・環境学習支援　2021/11/4　長尾台小学校 3 年生 90 人

11/8　雲雀丘学園中 1 年生 160 人

・北摂里山こども探検隊受け入れ　2022/2/13　30 人

・さざんか福祉会農園活動支援　12 回

・ハーブ園活動　15 回

尚、緑地環境整備事業（最終年度）は、市の都合により来年度に実施。

以上

報告第1号　　令和3年度事業報告⑦　　文化・交流部会

1 事業計画に基づく活動概要

	活動名（部会・現地活動等）	活動内容	構成員	年回数	延人数
1	文化・交流部会	R3年度事業について、新部会員自己紹介、懇談	9名	10回	９０名
2	サロンコンサート	ピアノ演奏　松田真理子	4名	4回	３１名
	第1回事業　10月17日	ソプラノ　嶋崎幸枝			
		ピアノ伴奏　甲田幸子			
	ふれあいコンサート	合唱団　こーろ・あろーどら	4名	4回	２１名
3	第2回事業　11月２１日	ソプラノ　藤原道代			
		ピアノ伴奏　長谷川いずみ			
	春のコンサート	ソプラノ　長谷川眞弓	4名	4回	２１名
4	第３回事業　３月13日	ピアノ演奏　上田晶子			

2 活動内容

1	活動名　サロンコンサート 10月17日　ピアノ独奏：松田真理子　マズルカ　作品59ー1、 ボロネーズ作品40-2　ハ短調 2. テノール独唱　テノール古川　完　Pf松田真理子 菩提樹　くちなし　いのちの歌 3，重唱　夢路より　砂山　鞠と殿様 4，ソプラノ独唱：Vo嶋崎幸枝　Pf甲田幸子　呼吸ーbreathー 5. ピアノ独奏　Pf甲田幸子　Omiro　babbino　karo　紅葉～ジャズバラードアレンジ みなさんと手話、ハミングご一緒に～　赤とんぼ　故郷 場所　コミュニティひばり
2	活動名　ふれあいコンサート 11月21日　ソプラノ 藤原道代 伴奏：長谷川いずみ　秋のメドレー　帰れソレントへ　エリーゼのために リベルタンゴ　鬼のパンツ　ふわふわお手て 場所　コミュニティひばり
3	活動名　春のコンサート 3月13日　ソプラノ　長谷川眞弓　小さな空　めぐり逢い　嬉しいあの人　あの日あの時 ピアノ伴奏　上田晶子　春の唱歌と童謡メドレー　ミュージカル「キャッツ」より<メモリー> ミュージカル「サウンドオブミュージック」より、＜私の大好きなもの＞ オーソレミーオ（君はわが太陽） ・オペレッタ「メリーウィドー」より、＜ウ”ィリアの歌＞ 場所　コミュニティひばり

報告第１号　　令和３年度事業報告⑧　　雲雀丘浪漫委員会

1 事業計画に基づく活動概要

活動名（部会・現地活動等）		活動内容	構成員	年回数	延人数
1	雲雀丘浪漫委員会	役員会・全体会	18	12	210

2 活動内容

1 活動名　雲雀丘浪漫委員会

(1)役員会：全体会議等の審議事項の打合せ

(2)全体会：各種事業の企画・運営等に関する審議・報告・情報交換

当委員会は2019年5月、前身の雲雀丘100年浪漫委員会が積み残した課題を整理するため、期間を3年間に限定して活動してきました。残されていた課題は①旧安田邸の利活用、②伝統的建造物群保存地域指定の推進、③無電柱化等道路整備、④地域公共交通システムの整備の4項目でした。いずれも短期間でかつ単独のまち協で実現化することは大変困難なものであったことから、“コミュニティひばり”の今後のまちづくりの課題としていかに位置付けるか」に重点を置いて、協議を重ねてきました。

活動終了にあたりその要点を報告します。

ⅰ） 旧安田邸を地域の歴史・文化スポットとして再生利活用を！

本邸は、市の公共財産として管理されていて、市の公共施設保有量適正化方針では、[耐震性がなく、老朽化が著しく、活用には多額の経費が必要。前期（～2027年まで）に「建物の民間事業者へ譲与、土地の貸付」]とする方針です。また、その事業者は公募によって選定する制度となっています。建物は老朽化が著しく進み、本委員会の活動期間にも限りがあり、未解決のまま放置できない、今ならまだ間に合うとの思いから「旧安田邸を管理運営する法人を地域の力で設立することが最善」と判断し、推進することにしました。

新法人の目指すものは、「旧安田邸を当地域の魅力ある歴史や文化を紹介・継承するスポットとして再生させること」です。結果として伝統的建造物郡保存区域指定にもつながり、住宅地としての価値を高めることが期待できます。

本委員会の活動終了に合わせて、新法人設立の準備に入る予定です。しかし、継続可能な事業計画の立案、公募で選定、事業者（テナント）募集、住環境に悪影響を及ぼすような‘まちおこし’は避けるべきなど、多くのハードルがありますが、一つ一つ丁寧に処理しながら目的を達成させなければなりません。

具体的な提案は新法人が行いますが、実現化には地域の皆様のご理解とご協力が不可欠です。ご支援を賜りますよう、お願いいたします。

また、新法人設立後、旧安田邸の再生利活用に興味をおもちで地域を愛する次の世代の方々の参画が必要です。その折には是非ともご協力をお願いします。

＊経過の概要は下記をご参照下さい。

ⅱ） 伝統的建造物群保存地域指定の推進・無電柱化等道路整備・地域公共交通システムの整備は、長期的な取組みとして「まちづくり計画」に明記

いずれも国・県・市での政策上の位置づけや、地域内のコンセンサスを得ることが不可

欠で、長期的に取組む必要があることから、それぞれ課題について調査研究・情報収集を行いました。
「地域ごとのまちづくり計画（コミュニティひばり）2020 年 3 月」基本目標２,インフラ整備「歴史的価値を残し、誰もが住みやすいまちづくり」にそれぞれの活動目標を明記して、コミュニティひばりとして継続的に取組むように示しました。

(3)解散に伴う会計および記念誌「雲雀丘・花屋敷 100 年浪漫物語」の扱いについて
ｉ）会計
当まちづくり協議会の特別会計として保管する。使途は、当地区のまちづくりに関する歴史的な資料の保存や伝承等を目的とする事業に限るものとし、執行は運営委員会の承認を得て行うものとする。
ⅱ）記念誌「雲雀丘・花屋敷 100 年浪漫物語」
本記念誌の残冊は、継続して販売する。販売代金は上記の特別会計で管理する。なお、本誌の販売と保管は谷口龍雄氏（雲雀丘山手在住）が担当する。

おわりに
本委員会は、歴史的建造物復興宝塚浪漫物語委員会（2011（平成 23）～)、雲雀丘 100 年浪漫委員会(2014(平成 26)年～)を引き継いでまいりました。この間、様々なかたちで関わっていただいた多くの方々に心より感謝し、お礼を申し上げます。
「まちづくり」は終わりのないテーマです。“コミュニティひばり”ならではの魅力あるまちづくりが、地域の力で実現されていくことを期待します。

経緯の概要
「旧安田邸の保存利活用に関する事業」に関しては、本邸が市に遺贈されて以来約 10 年に渡り協議を重ねてきました。前身の委員会では、市が改修して公共施設として利活用できるように求めてきましたが、市の民間事業者に譲与して活用する方針は一貫して変わらず、また、財政の悪化などで具体的な方策が見出せない状況が続きました。この間には、子どもの療養施設の案もありましたが、地域からは防災公園にして整備してほしいとの意見が強く廃案となったことや、地域に所縁のある事業者に協力を働きかけ、積極的に応じていただいた事業者を得て公募公示に至りましたが、解体せず文化財として保存すべきとの意見などもあって応募を断念され、振り出しに戻ることもありました。
一方、阪神淡路大震災で多くの文化財や歴史的建造物を失ったことから、遺された歴史的遺産を再生利活用する機運が全国的に広がり、歴史的価値を伝承するに値する建造物の利活用事業に対する助成や融資制度が充実してきました。遺された歴史的遺産を利活用しながら保存する建築遺産レスキューという手法が注目され、地方創生の切り札として各地の‘まちおこし’で成果を上げています。
このような変化に対応して、「今ならまだ間に合う」との判断から、本邸に熱き思いを寄せておられる他団体等とも協力して、地域が一体となって取り組む体制を整えるとともに、

	建築遺産レスキューの専門家のサポートを受け、限られた選択肢の中から「地域の力で法人を立ち上げて運営する」ことを選びました。 紆余曲折はありましたが、私たちは多くのことを経験し、学ぶことができまた。とは言え、法人設立、公募で選定、事業者（テナント）募集、住環境に悪影響を及ぼすような観光地化は避けるべきなど、多くのハードルがあります。 旧安田邸を「地域の歴史的・文化的価値を守り、高める象徴」として、保存利活用を具体化する最後のチャンスと捉えて取り組んでいます。建物の老朽化が著しく進む中、一刻も早く実現させたいと考えています。それには地域の皆さんのご理解、ご協力が不可欠です。今後ともご支援を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

報告第１号　令和３年度事業報告⑨　地区防災計画推進委員会

	活　動　名	活　動　内　容
1	定例会	７回　総出席者数　１１９名
2	防災学習 オンライン利用 （サテライト ５会場）	７月１７日（土）参加人数　６３名 テーマ『第６地区に起こり得る災害を知る』 講師：見市 晃先生 当地域の地勢的な特徴を理解し大災害発生時の備えや防災意識を高めた。
3	防災訓練 オンライン利用 （サテライト ５会場）	１２月５日（日）参加人数　７２名 ひょうご安全の日推進事業の助成を受けて オンラインを利用して防災訓練を実施した。 大規模災害が発生した想定でシナリオ作成し読み上げる形の訓練をした。また、助成金で避難所運営マニュアルを作成し校区内住民世帯に配布した。また、間仕切りテント・簡易トイレを購入し災害が発生した際の感染症対策を説明した。宝塚市総合防災課久家さんの講義を受けた。

報告第１号　令和３年度事業報告⑩　まちづくり計画推進委員会

	活動名	活動内容
1	定例会	開催せず
2	事業計画に基づく活動	①　防犯・防災　・安全部会　・地区防災計画推進委員会 ②　インフラ整備　・雲雀丘浪漫委員会 ③　イベント交流　・イベント ④　福祉　・福祉部会 ⑤　子ども福祉　・子ども福祉部会 ⑥　環境　・環境部会 ⑦　広報　・事務局広報
3	市との話合い 進捗状況	コミュニティがテーマを決めて、市と話合いを行い、計画推進シート、対話シートにまとめた。 テーマ１：雲雀丘３丁目の宅地開発…自治会が主体対応するためテーマ取り下げ テーマ２：きずきの森の活用　…Ｐ８に記述

＊活動内容は、それぞれの事業報告にて、報告しております。

様式第６号

報告第１号　令和３年度事業報告⑪　イベント

事　業　実　績　報　告　書

（※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。）

団体名　宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会

１　事業種別	行政提案型　・　自由提案型　・　地域密着型
２　事業名	わがまち宝探し

３　事業の内容（実施時期、場所、回数、内容、参加者数などを具体的に記入してください。）

① 歴史講演会（実施時期：令和３年 10 月 9 日）
場所：コミュニティセンター、雲雀丘倶楽部　他エリア内自治会館 4 か所及び ZOOM
内容：当地域の特徴的な景観の歴史講演会（直宮先生、岡野先生、森先生）
参加者数：リアル会場 74 名　オンライン：58 名　計 132 名（内校区外：36 名）
② スタンプラリー（実施時期：令和３年 10 月 10 日～11 月 21 日）
場所：当地域全域、主にスタンプポイント 15 か所
内容：当地域の景観を織りなす 15 カ所のスタンプポイントを巡回し集印するイベント
参加者数：スタンプ集印コンプリート 329 名、ブログアクセス数 1039 名
つつじガ丘公園定点観測：約 500 名
③ 歴史講演会の記念誌作成（実施時期：令和３年 12 月 1 日～令和４年３月 21 日）
3000 部作成しコミュニティエリアの各世帯及びスタンプラリー協力施設へ配付。
※5 月号広報たからづか等により募集し先着 100 名へ配付予定
内容：歴史講演会の内容を基に「景観を織りなすわがまちの歴史」として再編（全 44P）

４　事業の効果・成果（事業を実施したことにより得られた社会的な利益などを具体的に記入してください。）

この地域の環境は開発当時から大きく変化し世代交代も進んでいます。従来から住んでいる方は当たり前の景色でも新しい世代にはその感じ方も異なります。当地域の歴史を振り返ることで新たに住民となった方にもこの地域では景観を守り伝えるという活動が文化となって定着していることが伝わったと感じます。

コロナ禍でイベント中止が当たり前でしたがオンラインを活用した講演会では宝塚市内の当校区外からの参加や他府県からの参加もあり、これからの地域活動の在り方を見直す機会になりました。歴史講演会は実会場の参加者は年齢層が高くオンラインではそれよりも若い世代の参加が多くありました。従来のスタイルであれば参観者の年齢層に偏りが出来て回顧的なイベントになる可能性がありましたがオンラインの併用で幅広い世代にアピールが出来ました。

スタンプラリーへの参加者は平均 2.6 名の家族もしくはグループでした。親が子どもを連れて昔訪れた場所に来て当時の体験を伝えている光景を目にすることもありました。今回のイベントが親から子に伝える機会をつくりこの地域の景観へ愛着を深めるきっかけづくりにもなりました。小学校区外からの参加も多くありこの地域に住んでいなくともこの地域のファンになりかかわりを持つ方も出てくると期待され当地域の魅力を宝塚市内外へ発信していくことが出来ました。

コロナ禍で社会全体や個人が孤立していくなかだからこそ足下の歴史を紐解き実際に歩いて回ることで地域の魅力を再発見できました。この内容を記録誌として残すことでこの地域の新たな魅力を発信できると考えております。これこそまさに協働のまちづくり活動の実践だと感じます。

５　実施した安全対策

（１）新型コロナウイルス感染症への対策

ア　事業の準備及び実施にあたり、以下の項目を遵守し、万全な対策を講じました。また、入場者数（定員）は、事業実施日現在の国・県・市及び実施する施設等の指針に沿った人数（以下）で実施しました。

チェック欄　↓

感染症対策	３密対策	☑使用前後及び休憩時に扉や窓を開けて換気を行った。
		☑ソーシャルディスタンス確保のため、入場者数の制限を実施した。
		☑座席の配列は前後左右を開けた状態にした。
		☑入退室時には来場者同士の間隔を２ｍ（最低１ｍ）程度確保した。
	体調チェック	☑発熱または風邪の症状がある方の入場制限を実施した。
		☑関係者（主催団体等）の体調管理を徹底した。
	感染対策	☑マスク着用を徹底した。
		☑手指消毒液を設置した。
	感染経路対策	☑来場者（連絡先等）の把握（来場者名簿の作成等）を行った。
	注意喚起	☑マスクの着用や手指の消毒等、来場者への周知・呼びかけを徹底した。
	その他	☑新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを遵守して事業を実施した。
		☑使用する施設の感染拡大予防ガイドラインを遵守して事業を実施した。
		☑感染状況により、事業の延期・中止や事業内容の変更等を検討した。 【検討内容】 感染拡大時はZOOMによるオンライン講演会のみで実行する

イ　上記以外に実施した新型コロナウイルス感染症対策は以下のとおりです。
※あれば記載

（ア）企画段階 基本的な感染対策（定員数の半減、ソーシャルディスタンス、マスク、アルコール消毒、体温チェック、参加者リスト）はすでに実施しているが、ＺＯＯＭを活用し接触機会の削減を行う。 （イ）実施段階 ・歴史講演会ではサテライト会場を設置し大人数の集合をさける ・運営スタッフ、講師用に別室を設け密を避ける。 ・スタンプラリーのスタンプポイントは屋外もしくは風通しの良い場所に設置 ・スタンプポイントにアルコールを設置し、注意書きを掲示

（２）新型コロナウイルス感染症以外の安全対策

事業の準備及び実施にあたり、以下の安全対策を講じました。

・スタッフのけがなどに備えた行事保険加入。
・個人情報の取り扱い
－取扱管理者が扱う。保管場所は鍵のかかる金庫に保管し用済み後は廃棄した。
－オンライン申し込み時に適切な管理を行っている旨伝えた。
－記念品の重複引き渡しの確認し利用することを明示しその用途以外には使わない。

報告第2号

収　支　決　算　書

自令和3年4月1日　至令和4年3月31日

「宝塚市まちづくり協議会」

（単位：円）

科　　目	予　算	決　算	達成率	備　　考
収入の部				
1．宝塚市まちづくり協議会補助金				
第1号事業	196,000	196,000	100%	組織運営事業費
第2号事業	90,000	90,000	100%	広報紙発行事業費
第3号事業	120,000	120,000	100%	イベント事業費
第3号事業	150,000	150,000	100%	まちづくり計画事業費
小計	**556,000**	**556,000**	100%	
2．その他の収入				
補填金		46,008		事務局会計　⇒　第3号（地区防災）
〃		457		特会：（環境）注2　⇒　第3号（環境）
小計	**0**	**46,465**		
その他収入（差額返金）＊		**3,250**		雲雀丘倶楽部借上料（環境部会）
合計	**556,000**	**605,715**		
支出の部				
組織運営事業費（1号）	196,000	192,217	98%	組織・事務局運営
広報紙発行事業費（2号）	90,000	88,980	99%	広報紙９９・１００・１０１・102号発行
ひばり祭り事業費（3号）	120,000	101,686	85%	地域歴史の講演会とスタンプラリー
まちづくり計画　（3号安全）	5,000	5,770	115%	通学路安全点検・交通マナー啓発
まちづくり計画（3号地区防災）	30,000	138,467	462%	オンライン防災学習・防災訓練
まちづくり計画（3号まちづくり計画）	10,000	335	3%	6つの分科会活動（各部会にて）
まちづくり計画（3号福祉）	30,000	16,612	55%	高齢者・障碍者居場所づくり・交流・支え合い
まちづくり計画（3号子ども福祉）	35,000	17,941	51%	子育て支援・居場所づくり・児童の健全育成
まちづくり計画（3号環境）	40,000	43,707	109%	住宅地環境整備・北雲雀きずきの森
合計	**556,000**	**605,715**	109%	（注1）

（注1）予算流用　　各予算の過不足を流用
最終不足金は,地区防災54,648円事務局より補填

（注2）　特会（環境）　　特別会計（環境部会）より、457円補填

＊宝塚市役所報告金額　　補助対象事業費　602,465円　4月9日提出
支出総額より、差額返金分を差し引いた金額

報告第2号

収　支　決　算　書

自令和3年4月1日　至令和4年3月31日

「宝塚市社会福祉協議会」

（単位：円）

科　　目	予　　算	決　　算	達成率	備　　考
収入の部				
1．宝塚市社会福祉協議会　助成金				
福祉部会	90,000	90,000	100%	コミュニティ支援事業
子ども福祉部会	40,000	40,000	100%	〃
文化・交流部会	38,000	38,000	100%	〃
小計①	168,000	168,000	100%	
2. 事業収入		24,700		福祉部会（地域ふれあい喫茶）5回分
小計②	0	24,700		
3．補填金				
福祉部会		424		福祉部会・特別会計より
福祉部会　地域ふれあい喫茶		17,932		福祉部会（社協）から地域ふれあい喫茶へ
福祉部会　（活動費）		6,000		福祉部会活動費返金（コロナのため未開催）
福祉部会（キャンセル料）		1,750		雲雀丘倶楽部半額返金
文化・交流部会		4,873		文化・交流部会特別会計より
小計③	0	30,979		
合計（①＋②＋③）④	168,000	223,679	133%	
支出の部				
福祉部会　（注3）	90,000	90,424	100%	助成金を分配（注2）、運営経費
子ども福祉部会　（注3）	40,000	35,165	88%	助成金を分配（注2）、運営経費
文化・交流部会(注1)	38,000	47,708	126%	謝金、経費、パンフレット印刷ほか
小計⑤	168,000	173,297	103%	
事業支出				
福祉部会		42,632		地域ふれあい喫茶
小計⑥		42,632		
返金（福祉部会）		6,000		ボランティアグループ支援“食”
返金（福祉部会）		1,750		雲雀丘倶楽部利用キャンセル料
小計⑦		7,750		
合計（⑤+⑥＋⑦）⑧		223,679		

（注1）　子ども福祉部より文化・交流部へ項目間流用する。

（注2）　福祉部会、子ども福祉部会は、団体、グループに助成金を分配している。

福祉部会　サロン（まつがおか、つつじ、山手）9,000円×3=27,000円

ボランティアグループ（食・アザレアの会）6,000円×2=12,000円　　”食”活動できず返金6,000円

子ども福祉部会　坂っ子ひろば　5,000円　・　さくらの小径　3,000円

（注3）　イベント「スタンプラリー」　協力金を含む

福祉部会　3,000円

子ども福祉部会　3,000円

報告第２号　　様式第７号

事　業　収　支　決　算　書

団体名　宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会
事業名　　わがまち宝さがし

収入　（単位：円）

費　目	収入内容	計算根拠	金　額
自己負担額	事務局負担	記念誌発行費用の一部として	150,152
事業収入			0
寄附金等	宝塚市社協・自治会・部会・個人	社協 30,000 円・@3,000 円×9 自治会・@3,000 円×２部会・個人 10,000 円	73,000
補助金　③	きずなづくり推進事業補助金	※	500,000
合　計		総合計（①＋②）と同額	723,152

※自由提案型事業、地域密着型事業では交付決定額または①×1/2 の低い方（千円未満切り捨て）とします。
※行政提案型事業では、交付決定額または①の低い方（千円未満切り捨て）とします。

支出【補助対象経費】　（単位：円）

費　目	支出内容	計算根拠	金　額
報償費	歴史講演会	講師３名×10,000 円	30,000
旅費	歴史講演会ほか	講師 2,000 円・手続き関係 820 円	2,820
需用費	資料、ポスター、パンフレット、台紙ほか	記念誌 386,027 円・パンフレット 44,424 円・コミセン印刷製本費 24,090 円	454,541
役務費	発送費	記念品発送５件	3,240
使用料	雲雀丘倶楽部・コミセン	雲雀丘倶楽部@3,000 円×3 回・コミセン上期 3,600 円	12,600
備品購入費	記念看板	看板１台	38,500
消耗品	箱、収納パック・封筒宛名ラベル	箱 45 円・パック 330 円・封筒 1,412 円・ラベル 357 円	2,144
雑役務費	振込手数料３件	スタンプ 660 円・看板 330 円・記念誌 770 円	1,760
保険料	歴史講演会行事保険	2,380 円 10/9　85 人分	2,380
合　計　①			547,985

※支出【補助対象経費】に記載するものは、支払ったことがわかるもの（領収書等）を必ず添付してください。また、各費目の金額は、領収書総括表における各費目の小計額と一致させてください。
※事業収支予算書に記載のない内容については、補助対象経費として認められません。

支出【補助対象外経費】　（単位：円）

費　目	支出内容	計算根拠	金　額
役務費	Zoom 年会費	一年分 22,000 円	22,000
雑費	景品、消耗品	バッグ、Ｔシャツ君セット・インク他	114,212
備品	スタンプ 15 個	@2,597×15	38,955
合　計　②			175,167

（単位：円）

総　合　計（①＋②）	723,152

報告第2号

収　支　決　算　書

自令和3年4月1日　至令和4年3月31日

令和3年度「ひょうご安全の日推進事業」

（単位：円）

科　　目	予　算	決　算	達成率	備　　考
収入の部				
1. 補助金		300,000		兵庫県
2. その他収入		5,182		事務局負担
合計		**305,182**		
支出の部				
備品費		47,720		防災トイレ・避難所間仕切
印刷製本費		257,462		避難運営マニュアル
小計		**305,182**		
手元残高		**0**		
合計		**305,182**		

＊令和3年9月10日　助成金交付決定通知書　第4003号
　　自主防災組織強化支援事業
＊令和3年12月15日　関西みらい銀行川西支店へ￥300,000振込み

収　支　決　算　書

自令和3年4月1日　至令和4年3月31日

令和3年度「年末年始地域ささえ愛活動助成」

（単位：円）

科　　目	予　算	決　算	達成率	備　　考
収入の部				
1. 助成金		30,000		宝塚市社会福祉協議会
2. その他収入		5,012		事務局負担
3. 協力金		43,000		9自治会・2部会・個人
合計		**78,012**		
支出の部				
雑　費		78,012		わがまち宝さがし　記念品
小計		**78,012**		
手元残高		**0**		
合計		**78,012**		

＊令和3年11月30日　関西みらい銀行川西支店へ￥30,000振込み

報告第２号

収　支　決　算　書

自令和3年４月１日　至令和4年３月３１日

「コミュニティひばり事務局」

（単位：円）

科　　目	予　　算	決　　算	達成率	備　　考
収入の部				
１．年会費				
年会費	200,000	195,400	98%	自治会
小計①	**200,000**	**195,400**	98%	
２．事業収入				
会議室借上料	50,000	52,200	104%	利用自治会・団体 ほか
コピー印刷等使用料	260,000	385,042	148%	利用自治会・団体ほか
小計②	**310,000**	**437,242**	141%	
３．その他の収入				
助成金		300,000		ひょうご安全の日推進事業
電気料金（振替）	330,000	245,877	75%	子ども館+スポクラ負担振替
〃　（振替）		10,776		ふれあいテラス（２自治会負担分）
水道料金（振替）		17,455		子ども館+スポクラ負担振替
通信運搬費（振替）		101,819		補助金第1号振替+スポクラ負担振替
消耗品費（振替）		52,056		〃（上限があるため超過分を補填金）
借上料（振替）		64,110		補助金１号振替
預金利息		19		事務局通帳3冊分
小計③	**330,000**	**792,112**	240%	
前年度繰越金④	2,394,046	2,394,046		令和２年度より
合計（①＋②＋③＋④）⑤	**3,234,046**	**3,818,800**		
支出の部				
事業費	840,000			
電気料金		412,513		コミュニティセンターひばり・ふれあいテラス
水道料金		33,306		〃
印刷製本費（注２）		760,046		コニカミノルタ保守・ラクスル・コピーほか
通信運搬費（注１）		101,601		インターネット接続料・電話料金・切手
交通費（注１）		4,909		会長、事務局　ほか交通費・駐車場
消耗品費（注１）（注２）		247,186		ネット会議用PC・用紙　ほか
リース料		106,023		コピー機リース(累積18ケ月/60ケ月)
借上料（注１）		48,000		雲雀丘倶楽部
修繕費		19,360		非常照明バッテリー取替・振込手数料
登録料（注１）		22,110		ZOOMアカウント料
会議費		777		お茶代
会費		3,000		宝塚市社会福祉協議会
雑費		8,384		保険料・硬貨手数料　ほか
補填金		46,008		第３号地区防災（スピーカーフォン）
〃		5,012		第３号イベント（トートバッグ）
小計⑥	**840,000**	**1,818,235**		
収支差額⑦	2,394,046	2,000,565		通帳３冊・現金 令和４年度へ繰越
合計（⑥+⑦）⑧	**3,234,046**	**3,818,800**		

（注１）宝塚市まちづくり協議会補助金の対象としている科目

＊消耗品費　ネット会議用パソコン代　93,720円を含む

（注２）ひょうご安全の日推進事業　42,240円避難所間仕切代・257,462円運営マニュアル印刷代含む

報告第2号

収 支 決 算 書

自　平成31年4月1日　至　令和2年3月31日

「特別会計」

（単位：円）

科目	予算	決算	備考
「福祉部会」			
収入の部			
前期繰越金	31,289	31,289	令和2年度より
合計①	31,289	31,289	
支出の部			
補填金		424	特会　⇒　社協　福祉
小計②	0	424	
収支差額①－②	31,289	30,865	令和4年度へ繰越
合計③	31,289	31,289	
「子ども福祉部会」			
収入の部			
前期繰越金	13,200	13,200	令和2年度より
雑収入		500	やきいもの会参加者より
合計④	13,200	13,700	
支出の部			
会議費		2,235	やきいもの会スタッフ
原材料費		8,640	焼き芋
小計⑤	0	10,875	
収支差額④－⑤	13,200	2,825	令和4年度へ繰越
合計⑥	13,200	13,700	
「文化・交流部会」			
収入の部			
前期繰越金	77,782	77,782	令和2年度より
雑収入		8,820	コンサート 3回分
合計⑦	77,782	86,602	
支出の部			
補填金		4,873	
小計⑧		4,873	
収支差額⑦-⑧	77,782	81,729	令和4年度へ繰越
合計⑨	77,782	86,602	

報告第2号

収支決算書

自　令和3年4月1日　至　令和4年3月31日

「特別会計　環境部会」

（単位：円）

科　目	実　績	備　考
収入の部		
報奨金	500,000	宝塚市　（きずきの森）
助成金	160,000	北摂里山魅力づくり応援事業（兵庫県北県民局）
助成金	100,000	ひょうご環境保全活動(兵庫県環境保全協会)
小計①	760,000	
預金利息	5	
繰越金	463,237	令和2年度　より
小計②	463,242	
合計（①＋②）③	1,223,242	
支出の部		
謝金	53,000	講習会・学習会・講師料
委託料	100,000	兵庫県自然保護協会・生物調査
雑役務費	440	振込手数料
交通費	1,760	環境パネル展に出展
印刷製本費	65,230	散策マップパンフレット
原材料費	13,706	きずきの森整備材料　ほか
借上料	1,800	コミセン利用料
消耗品費	262,571	各種替え刃・ガソリン・オイル・インク代・用紙　ほか
備品費	63,021	剪定鋏・草刈り釜　ほか
修繕費	88,858	整備用備品（運搬車のバッテリー）ほか
保険料	29,890	火災保険・スポーツ安全保険（チェンソー）
その他	31,152	会費・作業報奨費
小計④	711,428	
補填金	457	特別会計環境部　⇒　第3号　環境部へ
小計⑤	457	
合計（④＋⑤）⑥	711,885	
収支差額（③－⑥）⑦	511,357	令和4年度へ繰越
合計（⑥＋⑦）⑧	1,223,242	

報告第２号

特別会計

収　支　決　算　書

自令和3年4月1日　　至令和4年3月31日

「雲雀丘浪漫委員会」　　（単位：円）

科　目	実績	備考
収入の部		
記念誌売上	33,900	**33冊**
預金利息	4	
繰越金	470,113	**令和2年度より**
小計①	**504,017**	
支出の部		
印刷製本費	6,526	**会議資料・チラシ等**
借上費	10,500	**コミセン・雲雀丘倶楽部　利用料**
消耗品費	7,216	**用紙・インク・封筒**
その他	110	
小計②	**24,352**	
その他	25,000	**記念イベント事業**
小計③	**25,000**	
合計（②＋③）④	**49,352**	
収支差引（①－④）⑤	**454,665**	**令和4年度へ繰越**
合計④＋⑤	**504,017**	

＊令和３年度にて委員会活動終了のため、令和４年度より事務局にて管理

＊今後の記念誌売り上げについては、委員会会計担当者管理の上、年度末には事務局へ報告及び、入金処理をする。

報告第2号

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部			負債・剰余金の部		
科　　目	金　　額		科　　目	金　　額	
現　金		236,374			
福祉部会	30,865				
子ども福祉部会	2,825				
文化・交流部会	81,729				
事務局	120,955				
預　金（注3）		2,845,632	次年度繰越金		3,082,006
りそな（環）	511,357		福祉部会	30,865	
りそな（環）	0		子ども福祉部会	2,825	
池田泉州（浪漫）	0		文化・交流部会	81,729	
ゆうちょ（浪漫）	454,665		環境部会	511,357	
ゆうちょ（事）	1,079,846		雲雀丘浪漫委員会	454,665	
池田泉州（事）	249,749		事務局	2,000,565	
関西みらい（事）	550,015				
合　　計		3,082,006	合　　計		3,082,006

その他　環＝環境部会　浪漫＝雲雀丘浪漫委員会　事＝事務局

上記の通り報告いたします。

令和4年4月26日

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会

コミュニティひばり　会長　三島　基道

事務局　局長　松山　潤一

会計　小日向芳統

報告第3号

令和 3 年度会計監査報告書

令和3年度、宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会（コミュニティひばり）の収支計算に関連する帳簿、証憑等の監査の結果、公正妥当と認めます。

令和4年　4月　26 日

監　査　　名嘉眞　朝敏　　㊞

監　査　　宮本　加奈美　　㊞

第１号議案　　規約の追記（案）

追記理由「ふれあいテラス」管理・運営の見直しのため

コミュニティひばり　ふれあいテラス　利用規約-

令和3年4月10日

（目　的）

ふれあいテラスは、以下に上げるような地域的な共同活動を行なうことにより、
良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とする。

⑴ 会員相互の親睦活動に関すること。
⑵ 専門部会活動に関すること。
⑶ 宝塚市及びその他の関係団体との連絡調整に関すること。
⑷ その他、会の目的達成に必要と認められること。

（会　員）

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会、会則第２条に準ずる。

（区　域）

活動の区域は、長尾台小学校区内とする。

（管理者）

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会内（事務局）とする。

（利用禁止事項）

（1）政治活動・宗教活動に利用する
（2）営利を目的とした活動に利用する
（3）反社会的勢力に該当する団体との活動に利用する

（利用規定）

⑴ 事務局にふれあいテラス利用者登録書を提出する事。
⑵ 利用者は、鍵の暗証番号を他の人に教えてはならない。
⑶ 利用者は、部屋の電気・エヤコンの使用後の消灯を確認する事。
⑷ 定期的に利用するものは、事務局に報告しなければならない。
⑸ 他の利用者と重なる場合は、ボード予定表に記載した利用者が優先する。
⑹ 利用者は、利用状況をふれあいテラス利用日誌に必ず記載すること。
⑺ 利用者は、長尾台小学校区まちづくり協議会内事務局に毎年４月中に登録をする事。
⑻ 利用者は、部屋の整理整頓及び発生したゴミは、必ず持ち帰る事。
⑼ 登録書に変更が生じた場合は、使用前に再登録をすること。

ふれあいテラス利用者登録書　　新規・継続・変更					
提出日	令和　　年　　月　　日				
団体名					
代表者	氏　名		住　所		
			連絡先	自宅・携帯	

（注）記載された情報は、コミュニティひばり連絡事項の目的で使用し、他の目的には使用しません。

第1号議案

新役員候補者承認の件

新役員候補者氏名

役職名	定数(名)	候補者　氏名(順不同)
会長	1	三島　基道
副会長	2	山本　慶一
		松山　潤一
事務局長	1	松山　潤一
庶務		長榮　浩一 鈴木　邦光 松原　孝彦 前田　幸夫 梶野　太陽 梅田　美佐子
会計	1	小日向　芳統
広報	1	神村　由希子
監査	2	宮本　加奈美
		名嘉眞　朝敏

第2号議案　　令和4年度事業計画(案)①
令和4年度コミュニティひばり事業の基本方針(案)

2年続きのコロナ禍にも関わらず、昨年度のコミュニティひばりの活動は様々な成果を上げた一年でした。令和4年度は、引き続いて、以下に述べる内容を基本に活動をして行こうと考えます。

１　令和３年度に実施した歴史講演会、スタンプラリーという新しい事業活動を更に発展させて行くために、今年度は若い世代が中心となった活動を加え、地域の景観の魅力を感じ、伝え、守っていく活動に育てて行くことを目的とした事業（いごこちの良いまち再発見）を企画していきます。

２　令和４年度限定でデジタル化促進事業の補助金が交付されます。当補助金を基にしてzoom会議等を更に充実し、推進して行きたいと思います。

３　令和３年度、地域のまちづくり見直しは宝塚市との話し合いを通じて、課題の共有が出来るようになりました。当話し合いの進め方は、一歩一歩丁寧に進めることが出来るが、一方、時間がかかりすぎて急を要する課題には対応できないといえます。令和４年度は、更に、話し合いのやり方を進化させることが必要です。話し合いのやり方を良くすることを探っていきたいと思います。

コロナ禍は依然続くようですが、私たちは、コミュニティひばりを維持し推進して行くために、協力し、アイデアを出し合って、この一年を過ごしていこうと思います。皆様のご協力を宜しくお願いします。

第2号議案　令和4年度事業計画(案) ② 組織運営・交流事業・事務局(広報)

	活動名	活動内容
1	組織運営 定期総会・運営委員会 常任評議会 役員会の開催	※定期総会　年1回　令和4年5月21日開催 ※運営委員会　8月を除く(月1回 第2土曜日開催 （状況により非開催を決定する） ※　常任評議会（会長の判断により開催） ※　役員会　随時開催
2	組織運営 コミュニティセンターひばり 事務局の運営	※コミュニティセンターひばりの管理・運営 ※コミュニティひばりに関する会計全般 ※組織運営に関する事務処理全般
3	交流事業	※イベントの開催・実行委員会の立ち上げ （イベントの庶務全般） ※ふれあいテラスの管理・運営
4	事務局 広報「しんぶんの発行」	※103号・104号・105号・106号　年4回　ネット印刷 ※ブログ掲載　記事の編集　ほか
5	事務局「その他」	※コミュニティセンターひばりの設備・備品・情報の維持管理 ※ふれあいテラスの登録受付・定期的な清掃 ・鍵ボックスの番号変更 など

第2号議案　令和4年度事業計画(案)③　　福祉部会

まちづくり計画に基づく活動

P8　４．高齢者・障がい者福祉＜住民同士が支え合うまちづくり＞

活　動　名	活　動　内　容
まちづくり計画に基づく具体的な活動	①全体会の開催　年２回コミュニティセンターひばり会議室（以下コミセン） ②ネットワーク会議　年2回　コミセン（進捗状況確認） ③介護について話合う「しゃぼん玉」・認知症学習会ほか　コミセン ④マップの更新
高齢者等の居場所づくり	①地域ふれあい喫茶（思い出の歌ひろば）　毎月第４水曜日　年間１２回 ②まつがおかサロン　毎月　第２水曜日　年間１２回 ③山手ふれあいサロン　毎週　土曜日　年間６０回 ④サロンつつじ　毎週　月曜日　年間６０回 歩こう会・いきいき100歳体操・こつこつ体操 ⑤カフェ　フルール　（新規）　毎月　第4土曜日　年間12回 ⑥すこやかサロン　毎週　木曜日　年間６０回
グループ支援	①”食”の会ボランティアによる「高齢者食事会」年間１２回 ②男性料理教室　コミセン　年間12回 ③アザレアの会　つつじガ丘公園・集会所　随時開催
障がい者への理解促進のための学習会開催	①交流会　聖隷はぐくみ花屋敷との交流会
共催・協働事業 その他	①サロン交流会　参加 ②サロン支援プロジェクト　参加 ③宝塚市社会福祉協議会主催の社会福祉大会の参加 ④障がい者情報交換＆交流会　Zoom　毎月１５日 ⑤いきいき百歳体操：花屋敷荘園にて　毎週金曜日　年間６０回 ⑥その他主催の会議・催しに出席

第2号議案　令和4年度事業計画（案）④　　子 ど も 福 祉 部 会

<table>
<tr><th>活 動 名</th><th colspan="2">活 動 内 容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">まちづくり計画の個別施策に　基づく具体的な活動</td><td>全体会</td><td>① 開催回数　年間 2 回 程度
② 目的　子どもに関する福祉の向上・児童の健全育成
③ 内容　・情報交換や市などの情報提供と部員相互の交流
・ミニ講演会・研修会の開催
・課題解決に向けての活動</td></tr>
<tr><td>ネットワーク会議</td><td>① 開催回数　年間 2回 程度
② 目的　・相互支え合い事業 （子育て支援他）
③ 内容　・ ミニ講演会・研修会の開催</td></tr>
<tr><td>その他の活動</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>グループ活動支援</td><td colspan="2">① 放課後子ども教室 「坂っこひろば」 協力・支援</td></tr>
<tr><td>子育て支援
青少年健全育成</td><td colspan="2">① 講演会・研修会・の開催
・全体会・ネットワーク会議の開催時にミニ講演会・研修会を実施</td></tr>
<tr><td>放課後子ども教室
（坂っこひろば）</td><td colspan="2">年間10回位　長尾台小学校校庭にて
・放課後の子どもの居場所づくり</td></tr>
<tr><td>子育て支援</td><td colspan="2">① 宝塚市立子ども館の運営
市より指定管理を受けている第6ブロック子ども館協議会の運営に携わる
市立子ども館の運営・協力
*子ども館開館日 ： 月～土 10時～12時 および 13時～17時
*第6ブロック子ども館協議会運営委員会へ運営委員の派遣（明星・斎藤）
校区民生委員としての参加 （井上）、子ども会代表としての参加（南）
*第6ブロック子ども館協議会理事会へ
理事の派遣（山内・長榮・山村・河野）</td></tr>
<tr><td>共催・協働事業　その他</td><td colspan="2">① コミュニティひばり主催の行事への協力・参画
② 放課後子ども教室「坂っこひろば」への協力
③ 市や社会福祉協議会主催の講演会・研修会・会議への出席、参加
④ 三世代交流事業　年1回</td></tr>
</table>

＊活動計画に関しては新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて中止も考えられる

第２号議案　令和４年度事業計画（案）⑤安全部会

	活　動　名	活　動　内　容
1	定例会	奇数月　第４土曜日
2	防犯カメラ設置要請（通称へび坂）	通学路でもあるため学校安全通学路点検と連携し宝塚市で設置・管理を要請していく。
3	啓発運動	令和４年度赤い羽根共同募金の配分を受けて事業を実施する。 交通マナーだけでなく、不審者情報、高齢独居者の様子、子どもの見守り、災害後の公園植栽の被害確認、空き家の庭木荒れ、ペットのマナー、困りごと等含め見守り活動をする。 活動に参加してくれる地域住民を募集し、活動内容を説明した上で実施する。 活動を開始しあがってきた情報を項目ごとに集計し報告する。
4	通学路安全点検	令和３年度に点検した箇所の経過と新たな危険箇所がないか確認していく。

第2号議案　令和４年度事業計画（案）⑥　環境部会

［Ⅰ］第６次まちづくり計画について

（1）　住宅地環境の整備

1．高木調査

昨年度に引き続き自治会ごとに樹木調査を実施し、コミュニティの樹木マップを作成する。

（2）　きずきの森の活用

ア　「住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備」について

北雲雀きずきの森駐車場の拡張について、関係部署と対話を持つ。

（3）　地域の環境保全に向けた取り組み

・担い手づくりに取り組む

［Ⅱ］きずきの森活動について

・今年度から「生物多様性保全活動拠点」となり、きずきの森整備方針等について、コミュニティとして市と協議する。

・整備ボランティアの募集

・環境学習支援

・その他

以上

第2号議案
令和4年度事業計画（案）⑦　　文化・交流　部会

活動名	活動内容
サロンコンサート　10月30日	☆ピアノ演奏　松田真理子 ソプラノ　嶋崎幸枝 ピアノ伴奏　松田真理子 ピアノ伴奏　甲田幸子 場所　コミュニティひばり
ふれあいサロン　11月20日	☆合唱団　こーろ・あろーどら＆あろどれった ♪みんなで歌いましょう ソプラノ　藤原道代 ピアノ伴奏　長谷川いずみ 場所　コミュニティひばり
春のコンサート　3月12日	☆ソプラノコンサート　長谷川眞弓 ☆ピアノ伴奏　上田晶子 場所　コミュニティひばり

第２号議案　令和４年度事業計画（案）⑧　地区防災計画推進委員会

ペット動物の災害対策

いざというとき、家族とペットがともに安全に対応できるよう、日頃からの心構えと備えが大切です。ただし、ペットを飼っていない人や苦手な人もおり、鳴き声やにおい、感染症などを不安視する声があるのが現実です。
ペットとともに適切に同行避難するためには、飼い主自身の安全確保を最初に行い、ペットのための水や食料、常備薬等の用意が必要です。ほかにも避難ルートの確認や基本的なしつけも重要です。社会化やしつけは、他人への迷惑となる行動を防止するとともに、ペット自身のストレスも軽減することにつながります。さらに、避難所では地域の皆様による自主的な避難所運営がされます。それぞれの避難所でのルール作りを進める必要があります。

活動計画

ペットの同行避難とは、災害の発生時に飼い主か飼養しているペットを同行して避難場所まで安全に避難することを言います。避難所でペットを人間と同室で飼養管理することを意味するものではありません。
ペットの同行避難とはどういうことか学び、当区避難所でのペットに関するルール作りを進め、それに基づいた訓練を実施する。

スケジュール案

4 月～6 月　・昨年度のシナリオ訓練の課題を基にアップデート
　　・昨年度の課題解決の対策策定
　　・他の自主防災組織との意見交換
7 月　防災講座「ペット同行避難」講師：兵庫県動物愛護センター
9 月　※ひょうご安全の日推進事業応募
10 月　訓練シナリオ作成
11 月～2 月　避難所運営訓練
　　・ペット同行避難訓練
　　・ストーブ、簡易いろりを使って炊き出し訓練

第2号議案　令和4年度事業計画(案)　⑨　第6次まちづくり計画委員会

1. 事業計画に基づく活動内容「地域ごとのまちづくり計画」

活動名　　活動内容

全体会議		随時開催（不定期）
	分科会名	活動内容
P5 P6	防犯・防災	「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくり」 ・安全・防災対策 ・子どもの見守りの推進 ・道路の安全対策 ・獣害対策 ・空き家・空地対策 ・防災対策
P7	インフラ整備	「歴史的価値を残し誰もが住みやすいまちづくり」 ・地域公共交通システムの整備推進 ・無電柱化の推進 ・重要伝統的建造物群保存地区（重田伝建地区）指定の推進
P7	イベント・交流	「多世代が楽しく参加・交流できるまちづくり」 地域全体で交流できる場・機会の創出 ・地域の魅力発見 ・歴史講演会 ・ひばり祭り ・行政提案型事業「いごこちの良いまち再発見」
P8	福祉	「住民同士が支え合うまちづくり」 ・高齢者の居場所づくり　⇒サロンの継続・新規立ち上げ ・地域内での交流の開催　⇒全体会・ネットワーク会議の開催 ・地域でさまざまな立場の方の支え合い 障がい者の理解と知識の向上　⇒　講演会開催 介護者の支え合い　⇒　介護についての学習会開催
P8 P9	子ども福祉	「子育てしやすいまちづくり」 ・小学生の学習支援 ⇒　寺子屋事業開催 ・子どもの居場所づくり ・世代間交流の促進 ・親への支援（職業の有無にかかわらず） ・人材発掘・育成
P9 P10	環境	「豊かな自然を活かし、快適で安らぎのあるまちづくり」 ・住宅地の環境と整備（学習会の開催と樹木調査） ・きずきの森の活用 住宅地からのアプローチがしやすい道路の整備について⇒ 駐車場拡張について関係部署との対話を持つ ・地域の環境保全に向けた取組み 環境保全活動の担い手づくり
	広報	・地域ごとのまちづくり計画に関する広報全般

＊「地域ごとのまちづくり計画」 令和2（2020）年3月　策定

第3号議案

令和4年度　収支予算書（案）

自令和4年4月1日　至令和5年3月31日

宝塚市まちづくり協議会・社会福祉協議会・コミュニティひばり事務局

（単位：円）

科　　目	予　　算	備　　考
収入の部		
1．自治会・補助金・助成金		
自治会会費	180,000	自治会 年会費
宝塚市	556,000	まちづくり協議会補助金
宝塚市社会福祉協議会	140,000	福祉コミュニティ支援事業
小計①	876,000	
2．事業収入		
会議室借上料	50,000	コミュニティセンターひばり
コピー印刷等使用料	320,000	コミセン　コピー、印刷、ラミネート使用料
その他の収入	350,000	電気・水道料金・預金利息・その他
小計②	720,000	
合計③（①＋②）	1,596,000	
前年度繰越金④	3,082,006	前年度繰越金
合計③＋④	**4,678,006**	
支出の部		
1．活動費		
福祉部会	30,000	まちづくり協議会補助金
〃	80,000	福祉コミュニティ支援事業助成金
子ども福祉部会	30,000	まちづくり協議会補助金
〃	31,000	福祉コミュニティ支援事業助成金
環境部会	40,000	まちづくり協議会補助金
安全部会	5,000	まちづくり協議会補助金
文化・交流部会	29,000	福祉コミュニティ支援事業助成金
地区防災	45,000	まちづくり協議会補助金
まちづくり計画	10,000	まちづくり協議会補助金
コミュニティ事務局（補助金事業）	166,000	まちづくり協議会補助金事業（組織運営事業）
〃	90,000	まちづくり協議会補助金（広報誌発行事業）
〃	140,000	まちづくり協議会補助金（ひばり祭り・イベント）
コミュニティ事務局(事業)	900,000	補助金・助成金以外の事業経費
小計⑤	1,596,000	
2．予備費		
事務局・特別委員会・各部会	3,082,006	
小計⑥	3,082,006	
合計⑤＋⑥	**4,678,006**	

注：予算の額については、事務局及び各部会間で補填できるものとする。

注：福祉コミュニティ支援事業は、福祉部会・文化交流部会・子ども福祉部会の間で流用できる。

＊　上記の予算案の集計には、特別会計は含まない。